

# 中西産業株式会社

**変化を力に変える戦略的経営。  
常に進化する経営デザインシートが導く企業変革。**

1949年創業、東京都千代田区に拠点を置く中西産業株式会社は、オフィスビルや一般住宅のドアや窓に使用される、建築金物および機能部品の開発設計・製造・仕入れ・販売まで一貫して行う企業です。主力商品は、丁番やクレセント、ハンドルなどの建築金物です。国内に8事業所2分室を設け、国内だけに留まらず海外の提携先とも技術交流や製品輸出を行っています。

長年にわたる実績とノウハウで建築業界を支えてきた同社ですが、近年、外部環境の大きな変化に直面し、事業の転換期を迎えていました。

まさに企業変革の最中にある同社が、本支援事業をどのように活用したのか、取締役 鎌ヶ谷工場長 兼 技術部長の村松 道浩 様にお話を伺いました。

企業名：中西産業株式会社

住所：東京都千代田区神田佐久間町3-37-38

代表者：木本 順二

企業HP：<https://www.nakanishi-sangyo.co.jp/>



取締役 鎌ヶ谷工場長 兼 技術部長 村松 道浩 氏

## Q. どのようなきっかけで本事業に参加しましたか。



主力商品（丁番）

A. 外部環境の変化は、自社の売りに大きな影響を与えました。

人口減による住宅着工件数の減少に加え、SDGsによる※ZEH普及で断熱性向上による窓の小型化・固定化が進み、同社の主力製品である窓用金物の需要が減少しました。

また、ハウスメーカーの建築費用削減の動きが加速し、従来のビジネスモデルが通用しなくなり、将来の事業運営に強い危機感を抱きました。

そんな時に東京都中小企業振興公社のHPを見て「企業変革」というキーワードが目にとまり、既存事業の再構築と共に、新たな事業運営の模索と企業変革を実行するために本事業への参加を決意しました。

※ZEH(ゼッチ)・・・ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス 住宅で使う一次エネルギーの年間消費量が、概ねゼロの住宅のこと

## Q. 貴社の取り組みに対してどのような支援がありましたか。

A. まず、本事業と並行してデザイン経営スクールに参加し、自社のビジネスモデルを可視化しました。これにより、強みや課題を可視化し、新たな軸となる変革の方向性を決めました。

セミナー講師より伝授された、他企業で行っている事例を自社でも取り入れ、3週間ごとに3時間3チームで、新規事業（新商品）に向けてのアイデア出しの会議を定例化しました。

自由な発想と革新的なアイデアを生み出すために、社内にアイデアルームを開設し、そこで自身が本事業を通して可視化したフレームワークや自社のアイデンティティ等を掲示しました。

内容についてはアドバイザーと定期的に報告相談を行うことで、頭の中を整理し、新たに資料を作る等の試行錯誤を繰り返しました。

スクールに参加して学んだことの社内共有と、社員の意識改革には最も苦労しましたが、ただ情報共有をするだけでは、話を聞いて終わってしまうので、1年以上時間をかけて社内への浸透を行いました。

また、事業計画書を基に、具体的な活動に繋がる経営デザインシートを作成しました。経営デザインシートは定期的にブラッシュアップされ、現在第22版です。記載する施策をより個々に落とし込むことで、目的が明確化し、活動の指針として運用しています。



アイデアルーム

## Q. 本事業に参加して得た成果はありますか。

A. 今までは、本部方針や事業計画が不明確な状態でしたが、本事業を通して作成した事業計画や経営デザインシートを継続的にブラッシュアップし、社員と共有することで、組織全体の目標達成意識が高まりました。自身にとっても業務の根幹になっており、これからも継続して活用していきたいです。



各部門を交えた定期的な会議

また、事業強化プロジェクトを立ち上げ、開発営業部と技術部に生産部門を交えた定期的な会議を開催し、情報交換を行うようになりました。3週間に1回1時間開催しており、部署や担当を越えて、全社が同じ方向を向いて一丸となっていくきっかけになりました。新規事業に向けたアイデア会議では、アイデア出しを定期的にチームで行う事が実践でき、具体的な商品アイデアが生まれています。

最近では、若い従業員に会議の主催を一任しており、全体を通して社員の意識改革と変革に向かう方向性が社内に浸透していることを実感しています。

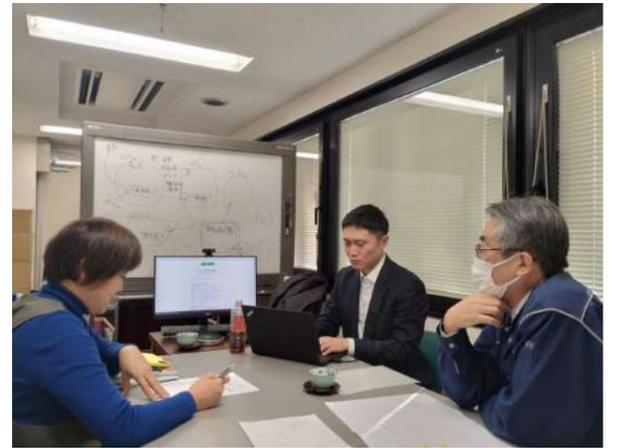
## Q. 今後の展開について教えてください。

A. 本事業を通じて社内で行った取組を、これからも長期的に継続します。

そして、営業拠点の売上向上支援も経営デザインシートに落とし込み、全社の方向性を一致させることに尽力します。

経営デザインシートは常にブラッシュアップをして施策を確実に実行すると共に、新しい項目を追加して、事業拡大に向けた次の一手を探していきたいです。

本業の活性化と新規事業の立上げに向けて、常に変化していきたいです。



事業拡大に向けた打合せ

### アドバイザーからのコメント

本事業を通じて、中西産業様は企業変革に向けた具体的なアクションを着実に実行し、組織の意識改革を進めてこられました。当初は企業変革のイメージが漠然としていたようですが、策定した事業計画や経営デザインシートの活用によって、自社を取り巻く状況や今後何に取り組んでいく必要があるのか等が明確となり、またそれらを部門内に共有することで組織が一体となる体制を築かれました。こうした一連の活動の中で、特に村松様が率先垂範しながら変革を推進したことが、社員の方々の意識向上と具体的な行動変容を促す大きな要因となったと強く感じています。

今後は、現在の取組を他の部門にも展開し、全社レベルで方向性を統一させることで、より強固な経営基盤の構築が期待されます。また、継続的な事業計画や経営デザインシートのブラッシュアップにより、施策の実行力をさらに高め、新たな事業機会の創出につなげていかれることを期待しています。